

次の にあてはまる数を入れなさい。計算は右のあいているところにしなさい。

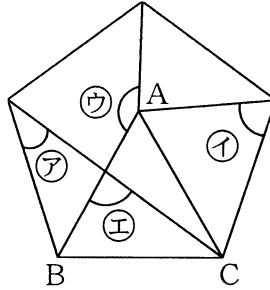
1.

(1) $\left(\text{ } \times 0.57 + \frac{17}{50} \right) \div \frac{53}{16} = 3.2$

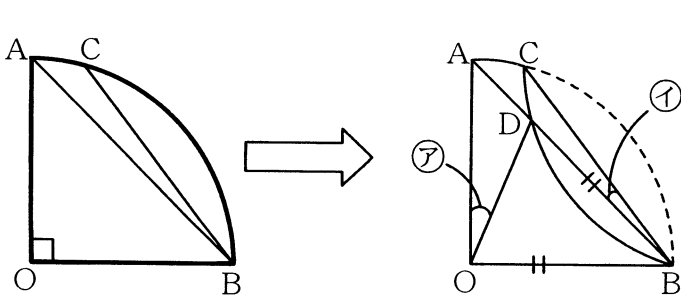
(2) 右の図のように、正五角形の中に正三角形ABCがある。

角アは 度 角イは 度

角ウは 度 角エは 度



(3) 下の図のように、円の $\frac{1}{4}$ の図形の円周上に点Cがあり、BCを折り目として折った。折り曲げた円周の部分とABの重なった点をDとすると、BDとBOが同じ長さになった。



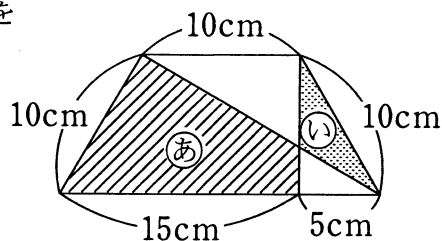
角アは 度

角イは 度

(4) 右のような台形の2つの部分②と③の面積の比を

もっと かんたん
最も簡単な整数の比で表すと

: である。



(5) ある店では、ケーキ 320 円、プリン 210 円、ジュース 70 円、紅茶 120 円である。

いま 13 人がそれぞれ菓子^{かし}1 個と飲み物^{ばい}1 杯を注文したら、合計金額は 4790 円であった。

プリンを注文した人は 人か、 人である。

2. 図のように、14 個のマスが横一列に並んでいて、すでにいくつかの数字が入っている。
次の2つのルールにしたがって、残りのすべてのマスに数字を入れなさい。

- ルール ① 14 個のマスに、1 から 7 までの数字がそれぞれ 2 つずつ入るようにする。
② 2 つの同じ数字の間には、その数字の数だけマスがあるようにする。
(例えば、4 と 4 の間には、4 個のマスがあるようにする。)

		2				5		4		1			
--	--	---	--	--	--	---	--	---	--	---	--	--	--

得点	1・2

3. 花子さんは、自転車に乗って分速 320m で J 町から G 町に向かった。バスは J 町と G 町を往復している。花子さんは、バスが G 町を出発してから 5 分後に J 町を出発し、花子さんが出発してから 20 分後にバスと出会った。バスは J 町に到着してから 5 分後に J 町を出発し、花子さんと出会ってから 35 分後に花子さんを追いぬいた。次の問いに答えなさい。

(1) バスの時速は何 km ですか。

求め方：

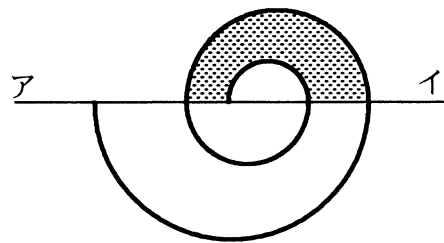
答 時速 _____ km

(2) J 町から G 町までの道のりは何 km ですか。

求め方：

答 _____ km

4. 図のように、直線アイの上に直径のある半円が 4 個ある。一番小さい半円は半径 10 cm で、半径は大きくなるにつれて、前の半円の半径の 1.5 倍になっている。円周率を 3.14 とし計算しなさい。



(1) 影をつけた部分の面積は何 cm^2 ですか。

答えは小数第 4 位を四捨五入しなさい。

求め方：

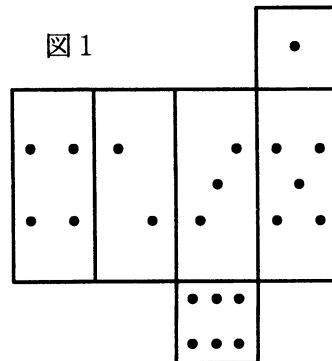
答 _____ cm^2

(2) 太線の長さは _____ cm である。

(3) 一番大きい半円の中心は、一番小さい半円の中心と比べて [左 ・ 右] に _____ cm だけ離れている。([] 内はどちらかを○で囲みなさい。)

5. 図 1 の展開図を、● のかいてある面が外側になるように組み立てて直方体を作った。同じ直方体を 4 個作り、図 2 のようにぴったりつけて並べた。

図 1

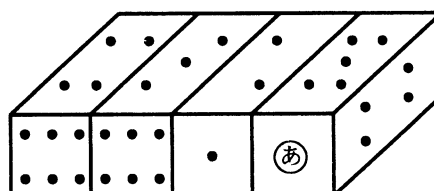


(1) _____ の中に ● をかきなさい。

図 1 で、_____ とかかれた面と平行になる面は、

_____ である。図 2 で、(あ)の面は _____ である。

図 2



(2) 図 2 で、直方体どうしが接している面の ● の数の和は

_____ である。

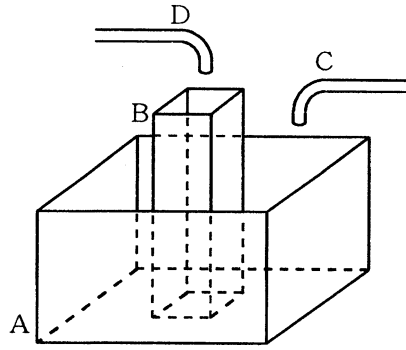
得点	3
----	---

得点	4
----	---

得点	5
----	---

小計	
----	--

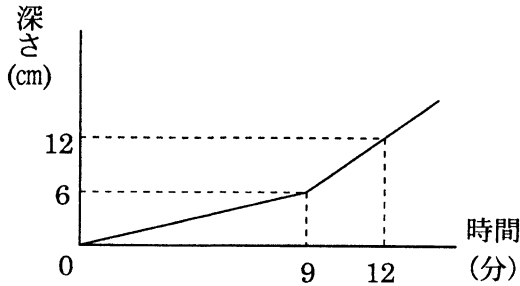
6. 直方体の形をした水そうAとBがある。右図のように、水そうAの中に水そうBが入っていて、A、Bの真上にそれぞれ蛇口C、Dがある。グラフは、蛇口C、Dからそれぞれ一定の割合で、同時に水を出し始めたときの、時間と水そうAの水の深さの関係を表している。水そうBの底面の面積は 210 cm^2 、深さは 60 cm である。



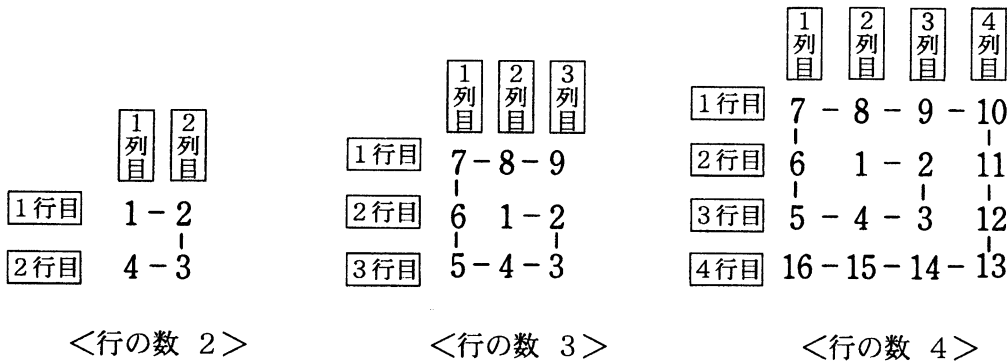
蛇口Dからは、1分間に cm^3 の水が出ている。

水そうAの底面の面積は cm^2 である。

ただし、水そうの厚みは考えない。



7. 図のように、時計回りに1から順にうず巻き状に整数を並べる。ただし、行と列の数はいつも同じになるようにする。



(1) 行の数が15のとき、2行目14列目の整数は である。

(2) 行の数が20のとき、4すみの整数の和は である。

8. ある品物の仕入れ値に、300円の利益を見込んで定価をつけた。Aさんは定価の10%引きで15個売り、Bさんは定価の20%引きで20個売ったところ、AさんとBさんの利益の比は9:4になった。

(1) 定価の10%引きで売ったときと、定価の20%引きで売ったときの1個あたりの利益の

比を、最も簡単な整数の比で表すと : である。

(2) この品物の仕入れ値は 円である。

得点	6
----	---

得点	7
----	---

得点	8
----	---

小計	
----	--

合計	
----	--